

令和元年度 今治市宮窪カレイ山展望公園指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市宮窪カレイ山展望公園
所在地	今治市宮窪町宮窪4703番地
指定管理者	<p>名 称 NPO法人能島の里</p> <p>代表者 理事長 村上 利雄</p> <p>住 所 今治市宮窪町宮窪4703番地</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>産業部 観光課</p> <p>TEL : 0898-36-1541</p> <p>E-mail : kankou@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	施設の目的基本方針の確立をするため様々な事業を行った。(楽しく利用して頂くために適時清掃をした。公園に魅力を付けるために園内に多数の花を植えた。市場で農産物を販売し、観月会を県民総合文化祭企画公募事業として行った。)	B	事業の履行は適正に行われている。今後も施設の設置目的や管理運営の基本方針を理解し、業務に取り組んでいただきたい。
利用状況	B	入園者は昨年より若干減少。理由として一昨年の豪雨によるアクセスの不便があった。大型連休のキャンプ利用が増えた。25年前海洋カメラマンの添畑薫氏が瀬戸内海随一の景観と紹介。「遠見茶屋」人気。	B	入園者数について減少はしているが、キャンプ利用者は増加しており、現在のブームやサイクリスト人口の増加が原因と考えられる。今後も各種イベント等で利用者の増加を図るとともに、快適な利用ができるよう管理運営していただきたい。
事業収支	B	事業収支は適切に実施した。	B	収入、支出に関して適正に行われている。
管理運営体制	B	全員の活動日は月に1回実施し、主な作業はこの日に行った。日常しなければならない作業は配置された人が主となり人材を確保しながら対応した。土・日・祝日5~6名が集いそれぞれの作業にあたった。	B	適正な管理運営ができるよう人員配置がなされている。
管理運営業務	B	魅力ある施設を維持するために園内遊歩道沿いに花を植える等、特に力を注いだ。トイレは分担し適時清掃した。主には土・日に実施し、目立つゴミは管理責任者等が適時行った。	B	集客力を上げるための美観上の工夫や清掃等適切な施設管理がなされている。
利用業務	B	カレイ山展望公園の魅力発信のためホームページを刷新した。またキャンプ場に利用料金表を設置した。石体験ツアー等イメージアップに努めた。	B	新たなイベントの実施やHPの更新による周知により施設のPRを行っており、今後もイメージアップを図って取り組んでいただきたい。
その他業務	B	その他業務に関してはなんらかの形で取り組みました。その中でイベントの際には駐車場の確保に苦慮していますが、会員が隣地を確保し車をスムーズに誘導した。	B	イベント時でも来客車両の駐車スペースを確保し円滑に誘導できるよう取り組んでいただきたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
修繕業務	B	日々の小さな修繕は警備の際に行った。梅雨時期に陥没した遊歩道や破損施設はみんなで補修した。また、キャンプ場の生垣を選定して短くした。	B	修繕業務については人員確保できる時において円滑に行っており、今後も利用者の安全と美観の確保を図っていただきたい。
備品管理業務	B	備品は適正に管理した。	B	備品について購入はなかったが、今後も適正な管理と効率的な更新を行っていただきたい。
行政財産の目的外使用許可手続業務	B	コンテナと小屋で市場を開設し、会員の作った減農薬の野菜や柑橘を販売した。石の腰掛けは展望台に上がれない高齢者の方等多数利用して人気の場所となった。また、アベックにも人気があって観光地化に大いに役立っている。	B	申請手続き、運営面において適切な処理がなされており、利用者へのサービス向上が図られている。今後も継続して取り組んでいただきたい。
自主事業	A	ガイドを遊歩道の入口に設け、観光客が迷わないよう案内図で説明した。花見は今年度も大勢の人が訪れた。人気の観月会は地元の水軍太鼓グループに参加してもらい、多数の観客が集まった。石文化体験ツアーは好評でカレイ山展望公園のPRになった。	A	今後も施設のPRのため、新たなイベントの実施により利用客の誘致を図るとともに来場者が円滑にアクセスできるよう適切に誘導を行っていただきたい。
地域団体との連携	B	鶴島はカレイ山展望公園から見えて瀬戸内の原風景が残る唯一の場所である。魅力アップのため清掃等の協働作業を行った。	B	カレイ山展望公園から望める鶴島の魅力を守るため、今後も他地域団体との連携による清掃等協働活動を継続し、広域での地域活性化を図っていただきたい。
利用者アンケート	B	アンケートを行ったが、回答率が悪いので引き続き行う。批判の意見はない	B	聞き取り調査においての意見は好評価を得られたようで管理業務における成果が伺えるが、少数の回答しかいないため、引き続き多数の利用者へのアンケート依頼により意見回収を行っていただきたい。
事故・苦情	B	念願のアクセス道路の待避所が出来たが、陥没など傷んでいる部分が多く早急に修繕工事をしてもらいたい。	B	災害復旧事業完了後は従来どおりの通行は確保されている。利用者からの苦情等に対しては適切な対応をしてきており事故などの報告は上がっていない。引き続き路面の損傷箇所についても適宜対応をしていただきたい。
指定管理者の経営状態			会計帳簿等については法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められる。指定管理者の経営状況についても事業収支一覧や経営状況分析指標等から判断した限り、指定管理を安定して行う能力を有していると認められる。	

## 総合コメント(市)

指定管理者は、条例等及び業務仕様書に基づき、カレイ山展望公園の魅力が十分に発揮できるよう、施設の管理・運営を適正に実施していると評価できる。地域の活性化を図って他団体との連携も積極的に行っており、キャンプの利用者数についても増加傾向である。今後はこれまでの取り組みを継続し、苦情やアンケート結果も分析しながら、利用者に対するより良いサービス提供の環境を整えることを望む。